



□人権について（道徳の授業から）

8月4日・5日に1年生の道徳の授業で人権についてお話をしました。2年生・3年生のみなさんには、昨年度全校朝礼や生徒集会で話した内容です。少し振り返ってみましょう。

世界人権宣言	第2次世界大戦で約8500万人が悲惨な亡くなり方をし、その反省をもとに国連で採択された。
人権とは	誰もが生まれながらに持っている権利、幸せに生きるためになくてはならない権利 (自由にものが言える、自由に結婚ができる、自由に職業が選べる、平等に教育が受けれるなど)
人権の中で大切なこと	差別されない、差別しない
身近な差別とは	ばかにする、からかう、嫌がることをいう、いたずら、物をかくす、物をうばう、暴力をふるう 仲間はずれにする いじめ(いじり)など <u>人を下に見て、軽くみてしまう行為</u>
人権感覚をみがく	<u>人権の知識をもって</u> 、人権を守ろうと意識しながら生活をする <u>人権を尊重する</u> →人を平等に思い、大切にすること

自分や周りの人の言動はその人を大切にしたい言動になっているか
自分や周りの人の言動は人を下に(軽く)みて粗末に扱うことになっていないか
できていない時は反省したり、忠告ができるようになっていこう

みんなが仲良く、楽しく生活ができる学校(社会)をつくっていきましょう

磐梨中学校の「Happy School」は、誰もが学校に居場所が有り、仲間とのつながりをもつことができ、自分の将来にむけて自己実現ができる学校になって欲しいという願いが込められています。それはすなわち、人権を大切にす
る学校であると言えます。生徒・教員・保護者にとっての「Happy Schoolの実現」をめざしてがんばって
いきましょう。

1年生の生徒の授業のまとめをのせさせていただきます。

人権を大切にするために自分は何ができますか(生徒ワークシートから抜粋)

- ・人権のことを深く知り、そのことをしないように気をつける。
- ・差別など人が傷つく行動をしない。
- ・相手に何か言われたらちゃんと話を聞いて意見を言ってあげることが大切。
- ・いじめられている人をできるだけ助けてあげていじめられている人を支えるのが大切。
- ・できるだけみんながクラスの輪に入れるようにすることが大切。
- ・誰に対してもあいさつをする。
- ・好き嫌いがあっても差別をしない。具体的には、人を上・下・軽・重に分けて接するのではなく、みんな平等に接する。そうすることで複雑な気持ちにならなくてすむ。差別も戦争もなくなる。
- ・いじめられている人と勉強をしたり、楽しく話をしたりして、学校に来やすい雰囲気をつくる。その人を励ましたり、その人の愚痴を聞いてあげたりする。
- ・1番大切なことは差別をなくすということからはじめ、次に相手の良いところを見つけると人権は大切にできると思う。難易度は高いけど、いじめや差別を止められるようになりたい。
- ・身近な差別(いじめ)を自分でもなくそうと思ったり、友達があっても「それはダメだよ」と教えられるようにがんばりたいです。他にもグループをつくる時に仲間はずれをなくせるように自分が行動したりして無くしていきたいです。
- ・友達に平等に接する。困っていることを聞いてあげる。いじめを止める勇気はないけど、いじめられている友達がいたら少しでも心の支えになるように話す。いけないと思ったら正直に言う。言えなかったら相談する。
- ・ことばをよく考えて選ぶ。いじめられている人、1人でいる人にあいさつだけでも声をかけてみる。
- ・人の悪いところではなく良いところを見つけ下に見ないようにする。
- ・みんなが楽しく生活できるような関係をつくっていくことが大切だと思います。そのためには、まず、自分が相手のことをちゃんと考えて行動することが大切だと思います。
- ・まずみんなで人権を知ったり、人権について考えることが大切だと思う。
- ・相手に腹が立ったとしても、みんな同じ「人間」なんだということを改めて理解して発言・行動することが大切。相手の気持ちを考える。自分がされたらということを考える。
- ・日頃から自分の行動が人権のどんなことにあたるか考えてみようと思った。
- ・Happy Schoolにするためにはしっかりと土台が必要だから、みんなで土台を作ってそれを継続していくことが自分にはできると思いました。
- ・差別からいろんなことにつながっていくことが分かった。だから、個人差や個人の特徴を差別しない。個性を大切にします。